



FY22 冬季インターンシップ「モノづくり×ICT」3 Daysを開催しました！

2023-03-10 11:00 ▲ Toshiki Kudo ▲ 企画情報

IoT, Tech, Event

ご覗いていただきありがとうございます！

執筆は、Co-Creation部 入社29年の木戸です。過去のブログの最後執筆者かと(笑)

今回は大学生向けに開催したインターンシップをレポートします。

目次 (非表示)

- 1.はじめに
- 2.開催概要
- 3.こんなインターンシップでした
 - 3.1.day1 コニカミノルタの技術展示エリア見学 & センサーとマイコンでIoTデバイスを作ろう
 - 3.2.day2 IoTデバイスクラウド連携 IoTシステムを作ろう & コニカミノルタ社員の困りごとを解決するIoTシステムを作ろう（前半）
 - 3.3.day3 コニカミノルタ社員の困りごとを解決するIoTシステムを作ろう（後半） & 発表会
- 4.おわりに

はじめに

インターンシップのテーマは、ぜひ「モノづくり×ICT」

メーカーとしてのコニカミノルタの魅力をグッと体感してもらうというコンセプトで、IoTデバイスの作成から、クラウドサービスとの連携までIoTシステムをギュッと3日間で仕上げてもらう内容にしました。

開催概要

・2022/11/28~30 コニカミノルタ東京八王子サイト新研究開発棟 参加17名

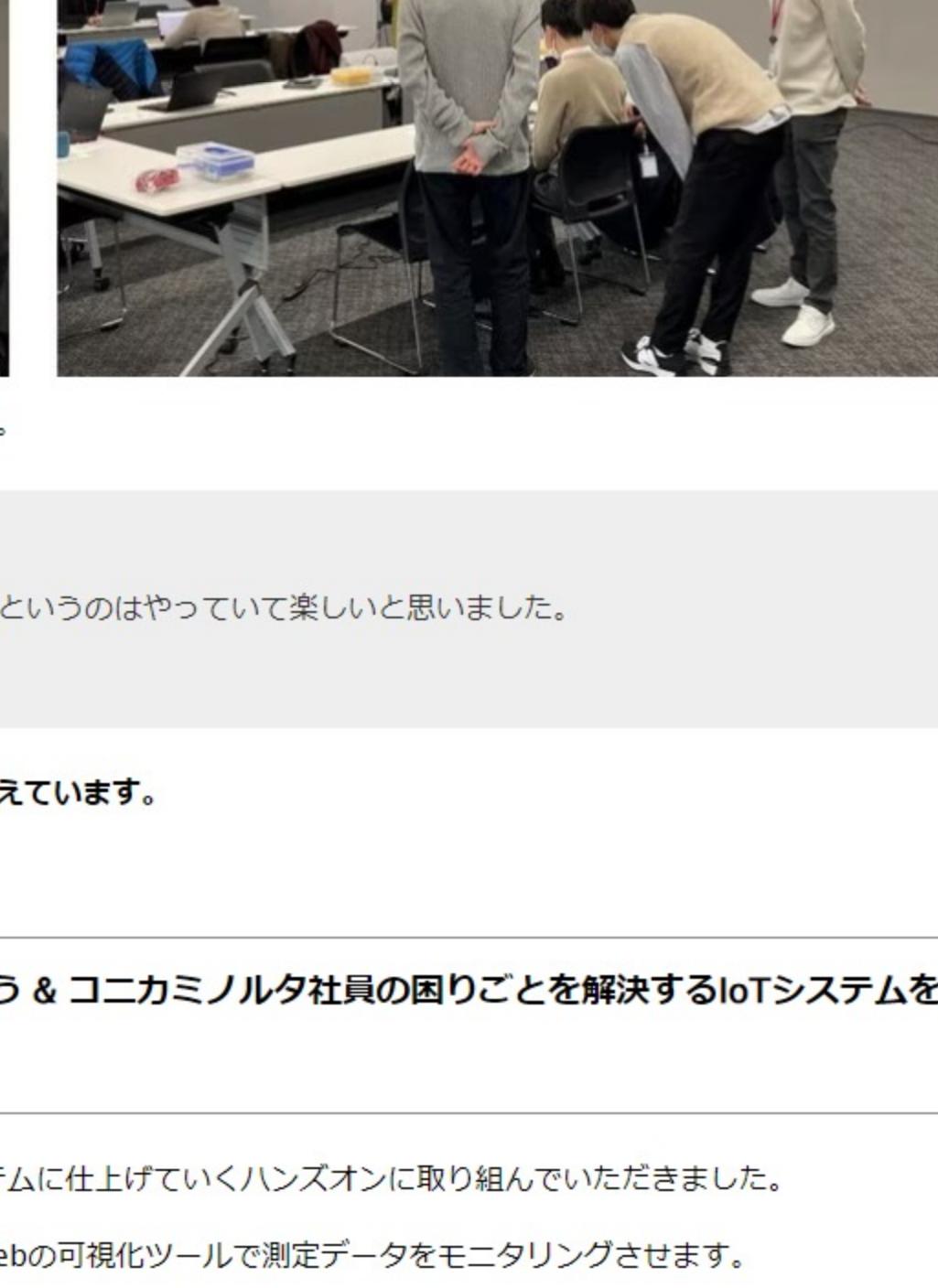
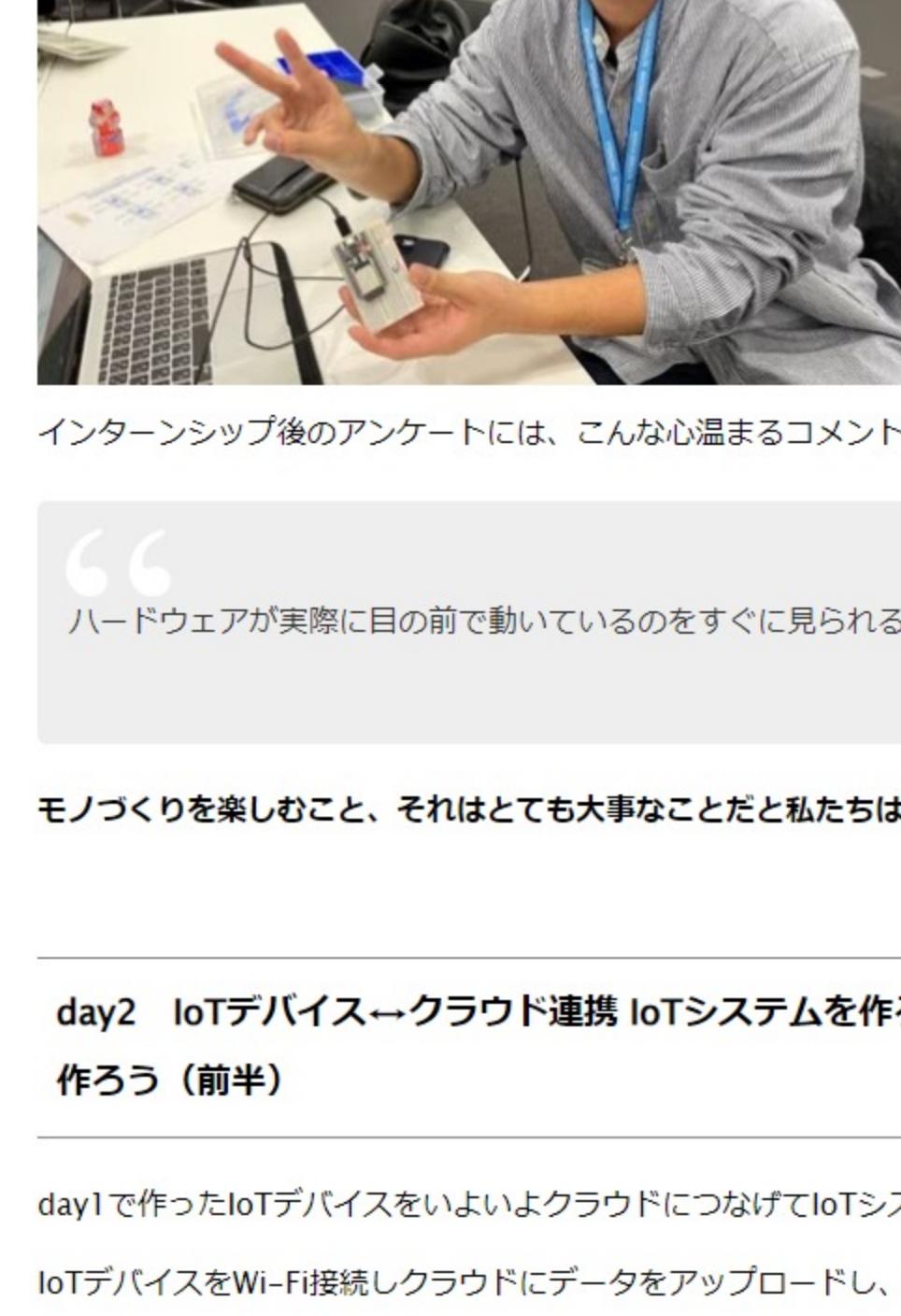
・2022/12/12~14 コニカミノルタ大阪高槻サイト新研究開発棟 参加19名

計36名が3dayインターンシップに参加してくださいました。

毎日の抗原検査、感染症対策を厳密にして面对にて開催することができました。

「モノづくり×ICT」をテーマにしたインターンシップは、今回が初開催！

コニカミノルタの魅力を伝えるために運営側も気合を入れて（必死に）、けれど楽しさを忘れずに（ぎりぎりまで）準備に奔走しました♪



こんなインターンシップでした

3日間のアジェンダはこのよう流れでした

day1 コニカミノルタの技術展示エリア見学

センサーとマイコンでIoTデバイスを作ろう

day2 IoTデバイス→クラウド連携 IoTシステムを作ろう

コニカミノルタ社員の困りごとを解決するIoTシステムを作ろう（前半）

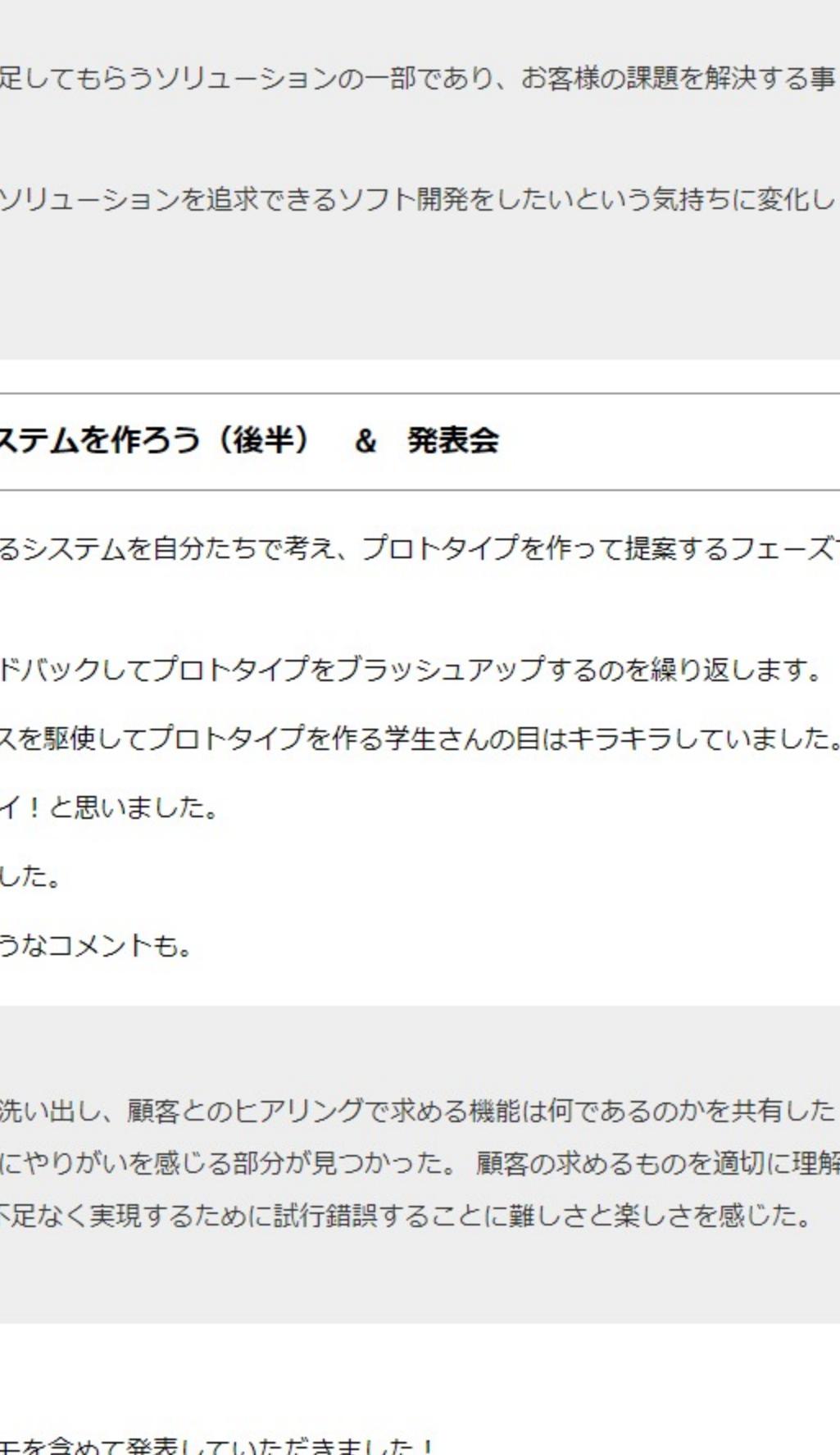
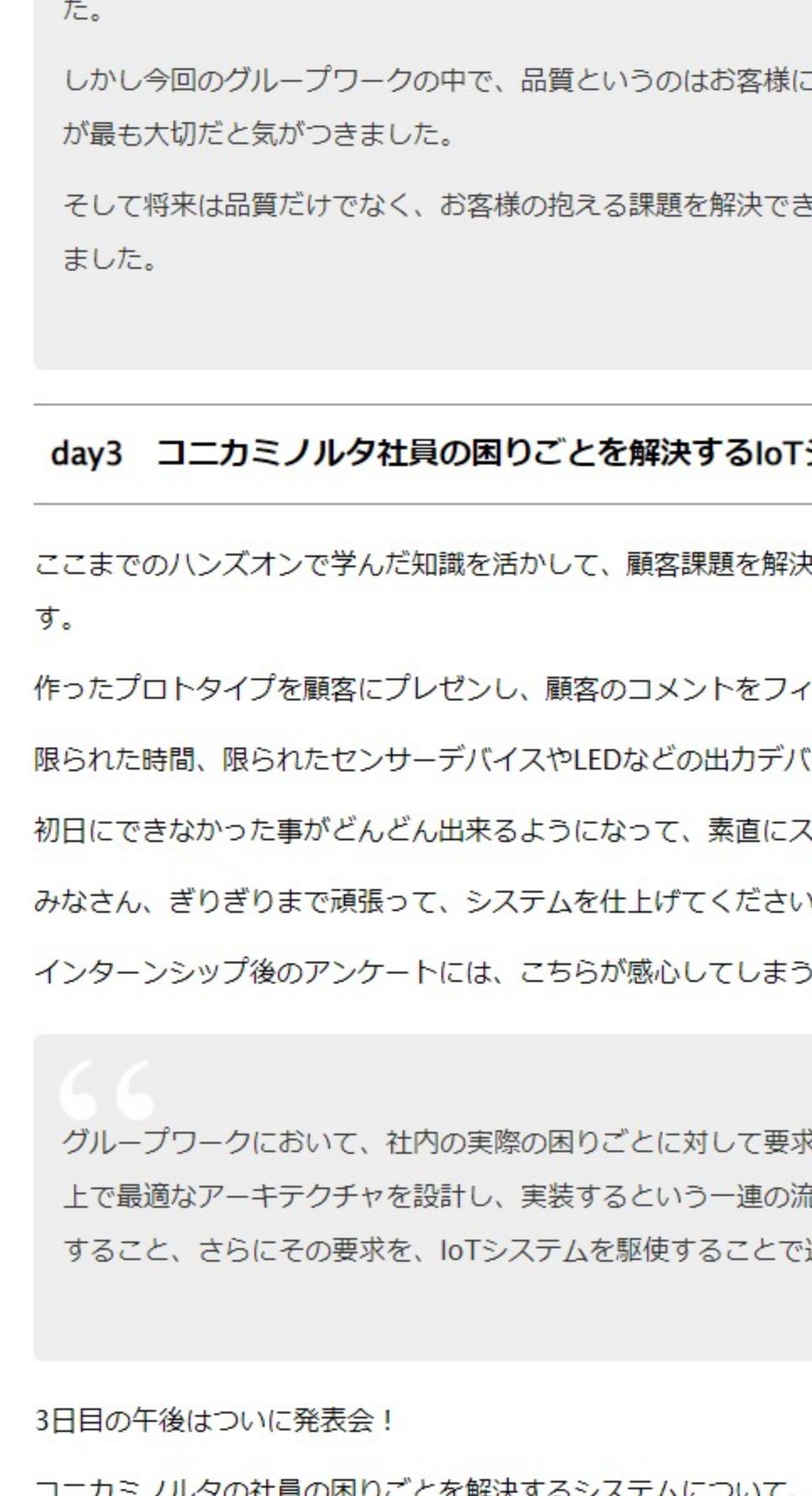
day3 コニカミノルタ社員の困りごとを解決するIoTシステムを作ろう（後半）

発表会

day1 コニカミノルタの技術展示エリア見学 & センサーとマイコンでIoTデバイスを作ろう

技術展示エリアの見学では、コニカミノルタのこれまでの歴史（創業150周年を迎えた）と、最新の技術であるFORXAI技術（高速・高精度度の画像AI技術を中心としたプラットフォーム）、それを用いたランディングフォーム分析サービス（Runalytic）、FORXAI Experience Kit（FORXAI技術を実際に体験できる間接キット）などの説明を実施しました。

学生のみなさんが、興味深く話を聞いてくれている姿が印象的でした。



インターンシップ後のアンケートには、こんな嬉しいコメントも。

“

展示見学から、コニカミノルタが持つハードの生産技術とFORXAIを組み合わせることで、様々な状況・ニーズに合わせたソリューションが提供できるということが伝わり、魅力的でした。

続いて、ハンズオン「インターンシップ参加者の安全・安心な環境を確保！『CO2モニタリングシステム』を作ろう」に取り組んでもらいました。

自分たちの安全・安心を確保するシステムを自分たちで作る。「顧客は自分自身、そんな設定にしてみました。

プレッドボードにマイコンを押し、センサーやOLEDをジャンパー線で接続。プログラミングしてデバッグする。困った学生がいたらグループのみんなで協力して、CO2濃度のデータがOLEDに表示された時には、みんなで拍手！



インターンシップ後のアンケートには、こちらが心地よいコメントも。

“

ハードウェアが実際に目の前で動いているのを見られる、というのはやっていて楽しいと思いました。

モノづくりを楽しむこと、それはとても大事なことだと私たちを考えています。

day2 IoTデバイス→クラウド連携 IoTシステムを作ろう & コニカミノルタ社員の困りごとを解決するIoTシステムを作ろう（前半）

day1で作ったIoTデバイスをいよいよクラウドにつなげてIoTシステムに仕上げていくハンズオンに取り組んでいただきました。

IoTデバイスをWi-Fi接続しクラウドにデータをアップロードし、Webの可視化ツールで測定データをモニタリングさせます。

また、Webツールからデバイス側をコントロールする機能を実装させて、一通りのインプット＆アウトプットシステムのベースを構築していました。

インターンシップ後のアンケートには、こんな嬉しいコメントも。

“

グループワークにおいて、社内の実際の困りごとに対して要求を洗い出し、顧客のコメントをフィードバックしてプロトタイプをブラッシュアップするの繰り返します。

限られた時間、限られたセンサー/ディスプレイやLEDなどの出力デバイスを駆使してプロトタイプを作る学生さんの目はキラキラしていました。

初日にできなかった事がどんどん出来るようにになって、素直に喜びました。

みなさん、ぎりぎりまで頑張って、システムを作り上げてくださいました。

インターンシップ後のアンケートには、こちらが心地よいコメントも。

“

グループワークにおいて、社内の実際の困りごとに対して要求を洗い出し、顧客のコメントをフィードバックしてプロトタイプをブラッシュアップするの繰り返します。

そこまでのハンズオンで学んだ知識を活かして、顧客課題を解決するシステムを自分たちで考え、プロトタイプを作って提案するフェーズです。

作ったプロトタイプを顧客にプレゼンし、顧客のコメントをフィードバックしてプロトタイプをブラッシュアップするの繰り返します。

限られた時間、限られたセンサー/ディスプレイやLEDなどの出力デバイスを駆使してプロトタイプを作る学生さんの目はキラキラしていました。

初日にできなかった事がどんどん出来るようにになって、素直に喜びました。

みなさん、ぎりぎりまで頑張って、システムを作り上げてくださいました。

インターンシップ後のアンケートには、こちらが心地よいコメントも。

“

グループワークにおいて、社内の実際の困りごとに対して要求を洗い出し、顧客のコメントをフィードバックしてプロトタイプをブラッシュアップするの繰り返します。